

運動遊びを 学校生活に 取り入れる 体力向上モデル

運動の生活化/遊び = 学びの体育学習
運動の日常化/遊びムーブメントを起こす

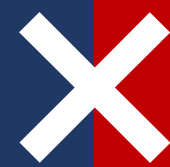
京都市総合教育センター

研究課・カリキュラム開発支援センター

運動遊びを学校生活に取り入れる体力向上モデル

運動遊びを学校生活に取り入れる体力向上モデル

生活化



日常化

運動の「楽しさ」を味わうことのできる体育学習を作りますか

学校に「遊びムーブメント」を起こしてみませんか

- 運動の楽しさを実感する
- 体力向上 ● 主体性, 社会性の向上

- 外遊びをする児童の増加
- 体力向上 ● 主体性, 社会性の向上

運動遊びを
楽しむ

運動遊びを
楽しむ

運動の **生活化**
 ～授業の中で楽しさを実感～
 遊び = 学びの体育学習

運動の **日常化**
 ～運動遊びを身近なものに～
 計画的な運動環境整備

子どもたちが楽しく学べる体育学習にしたいな

どんなことに気を付けて、授業づくりをしていけばいいのかな

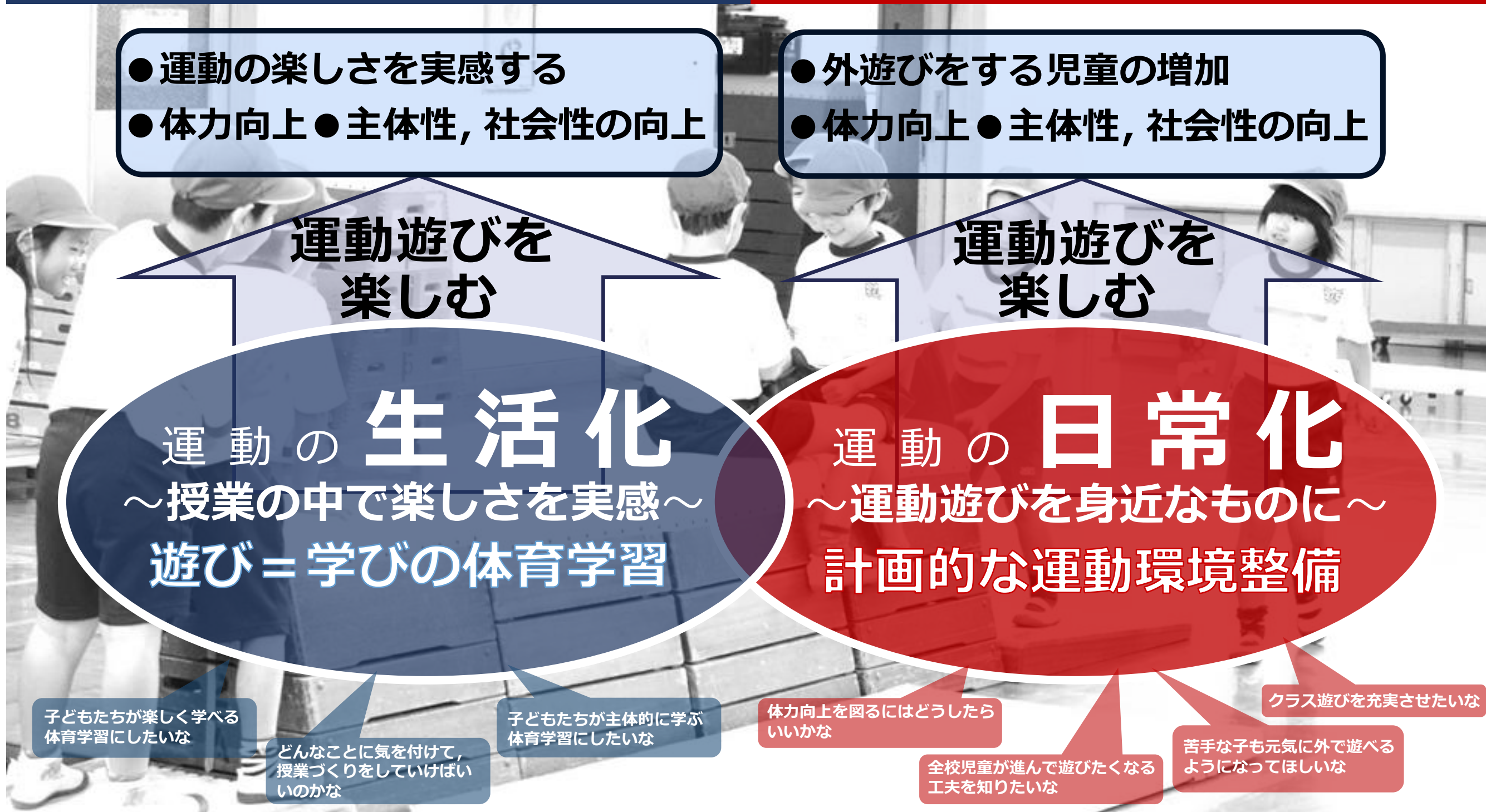
子どもたちが主体的に学ぶ体育学習にしたいな

体力向上を図るにはどうしたらいいかな

全校児童が進んで遊びたくなる工夫を知りたいな

クラス遊びを充実させたいな

苦手な子も元気に外で遊べるようになってほしいな





運動の日常化

運動遊びを身近なものにするために、
様々な工夫をしましょう

遊び場、遊び道具の整理



気軽にケンパができる遊び場



全校児童がいつでも活用できるしっぽ

遊びの掲示

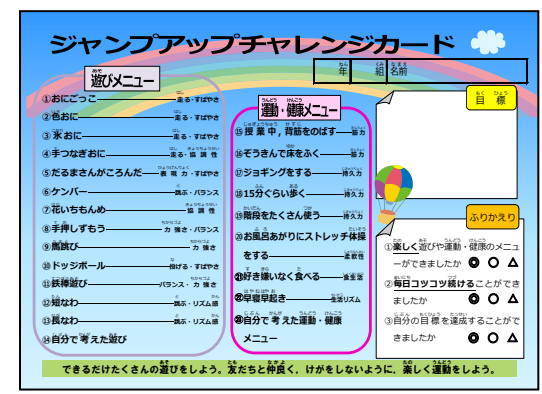
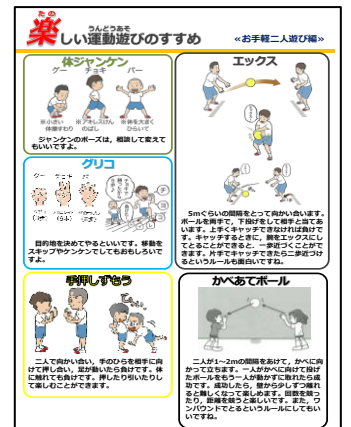


新しい遊びを知ることができる掲示



ゴムとびの手順を示した掲示

遊びをうながす配布物



つい遊んでみたくなるようなものを用意するといいですね。

全校児童がよく目にする場所を選んで掲示するとよいです。また、体育の授業で行ったものを取りあげるのもよいです。

児童が手に取って試みることができると、「遊んでみたい」という意欲が高まります。研究課のHPに詳細をアップしています。

クラブ活動で遊びに取り組む



様々な種類の運動遊びを取り入れた遊びクラブの創設

楽しく遊ぶことができるような遊びを年間を通して継続的に行うとよいですね。

全校縦割り活動で遊びに取り組む



月1度の縦割り遊びの時間で楽しく遊ぶ

異学年縦割りグループでの活動なので、自然と、教え合いや伝え合いがうまれますね。

朝会を使って遊びを広げる



朝会の時間を活用した、教職員による遊びの紹介劇

教職員による劇をすることで、子どもたちの意欲は非常に高まりますね。

獲得した遊びを学年で遊ぶ



紹介してもらった遊びを学年全体で遊ぶ時間の設定

継続的に続けることで、遊びが自分の日常の一部となりますね。

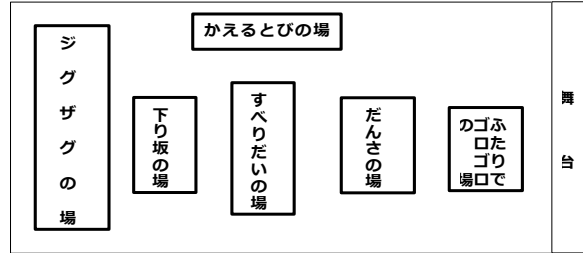
学校、学年、学級の実態に応じて、取り組んでみてください。



運動の生活化 | 遊び = 学びの体育学習となるための四つのポイントを意識しましょう

児童の自由度を高めること

事例1 | 1年マットあそび



- 選択できること
- 変更できること
- 工夫できること

指導者のねらいが反映された場を設定する

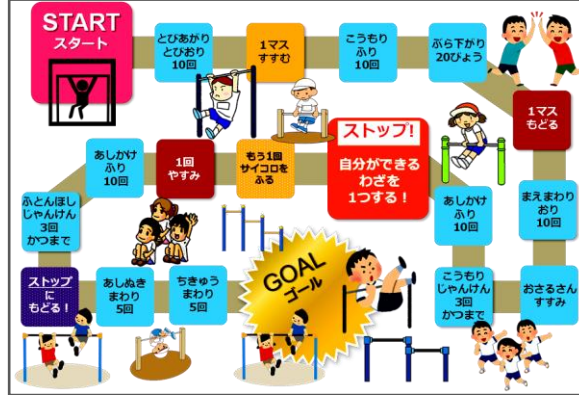
自分たちが遊びやすいような場の工夫をしてよい

ペアで自由に場所を移動してよい

自由度を高めることで、子どもたちは自ら進んで活動していきます。ある程度の遊び（ゆとり）がないと、子どもたちは窮屈に感じます。

楽しさの要素を取り入れること

事例2 | 2年てつぼうあそび



- 競争
- 達成
- 克服
- 運
- 真似
- 心地よさ

多くの楽しさの要素を意図的に取り入れる

自分たちが遊びやすいようにルール変更してもよい

獲得した遊びをてつぼうすごろくで楽しむ

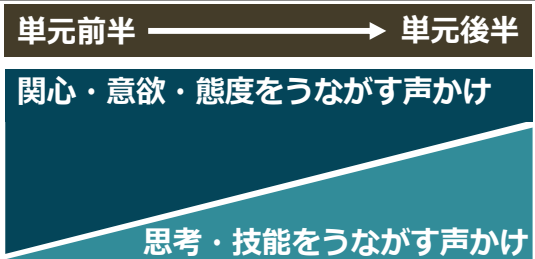
鉄棒は「達成・克服型」の運動とされていますが、低学年の子どもたちにとっては、そうでない場合もあります。意図的に多くの楽しさを取り入れることで、誰でも楽しく活動することができます。



児童の励みとなる声かけを続けること

関心意欲態度 → 思考技能へ

意図的な声かけの例



単元前半は、関心・意欲・態度に関わる内容

単元後半にかけて、思考・技能に関わる内容

実態に応じて、励みとなる声かけを続ける

- いいよ
- この調子
- ナイス
- 〇〇ができているね

単元の初めは、子どものやる気のスイッチを入れるようにします。子どもたちのやるスイッチが入れば、思考・技能をうながす声かけをします。

児童の学びの姿を明確にしておくこと

児童の姿を基にした指導を

事例3 | 1年とびばこあそび



学びの姿を明確にしながら学習を進める

両足で強く踏み切るといった情報が、児童にしみ込む

いくつか視点を変えて見ることによって、技能が高まる



さらに詳しく知りたい方は、京都市教育委員会、研究課のHPへアクセス

学びの姿（指導したいこと）が明確であるからこそ、児童の姿を基にした指導ができます。

生活化×日常化

京都発！確かな教育実践のために 30

運動遊びを学校生活に取り入れる体力向上モデル

-運動の生活化/遊び=学びの体育学習-

-運動の日常化/遊びムーブメントを起こす-

発行 平成29年3月

発行元 京都市総合教育センター 研究課・カリキュラム開発センター

〒600-8023 京都市下京区河原町通仏光寺西入ル

TEL 075-371-2705

FAX 075-353-4851